

Takuya IWATA × Hikaru IWAKAWA

Shakuhachi

Quena

岩田卓也 × 岩川光 - 尺八とケーナ 《息と竹の魔術》 -



©Cafe Beulmans

岩田 卓也 (尺八)

東京藝術大学中退。2002 年 N H K 邦楽オーディション合格。2004 年、長谷校校記念全国邦楽コンクールにて最年少で最優秀賞と文部科学大臣奨励賞を受賞。地元・常滑市より表彰される。2009 年第 6 回東京邦楽コンクール、優勝。2012 年国際尺八コンクール優勝。世界一のタイトルを獲得。コシノジュンコやクリスチャン・ディオールのショーで演奏。2010 年から 2016 年坂本冬美ステージメンバー。テレビ出演は「紅白歌合戦」「芸能華舞台」(NHK) など。海外公演 20 カ国以上。アメリカ、ニューヨークでの世界芸術見本市に日本代表として参加。シビウ国際舞台芸術祭スペシャルサンクス特別招待公演参加。2010 年には NHK 日本賞授賞式にて皇太子殿下の前で演奏を務めた。2016 年より作曲にも取り組む自身のリーダーユニット岩田卓也 @MAKI 残歌 (岩田卓也、伊藤志宏、ファルコン) 型にはまらない独特な演奏と気持ちを揺さぶる感情表現、リズム感を武器に尺八の新たな可能性を切り開いている。

<https://iwatatakuya.jp/>

岩川 光 (ケーナ)

独自の革新的な演奏技術で「ケーナの革命者」と呼ばれるケーナ奏者。音楽の原始に近づくような音作りや、複雑でありながらダイレクトに琴線に触れる楽曲に定評のある作曲家。マルチインストルメント奏者。9 歳よりケーナを始め、12 歳より演奏活動に入る。同時期にモダン及びバロックのリコーダーを修め、10 代には作曲や指揮法も学ぶ。こうした知見と技術を活かし、前人未到と評される独自のケーナ奏法を開拓、これまでの概念を覆す演奏を展開。南米・ヨーロッパを中心に音楽祭出演やツアー公演、ディノ・サルーシ、故ハイメ・トレスら世界的巨匠との共演、バロック・アンサンブル「カベラ・メディテラネア」のソリストとして参加したラジオ・フランスでの公演などを通じ、幅広い分野で国際的に高い評価を得る。録音作品も多く、その内容はバラエティに富み、国内外の専門誌で年間ベストに選出されるなど好評を博す。常に世界規模で複数のプロジェクトを展開。近年テレビや舞台の音楽録音を通じ、日本のお茶の間でもその音を耳にする機会が増えている。現代の作曲家との協働、古代楽器の演奏復元、製作家として新モデルの開発など、その活動は多岐にわたる。また南米を中心にマスタークラスの開講も多い。コロナ禍においても意欲的な制作を続け、録音作品を次々と発表。2013 年よりブエノスアイレス在住。

<https://hikalucas.wixsite.com/hikariwakawa>

■2021 年 7 月 10 日 (土) 17:30 開場 /18:30 開演

■にのまえ 茨城県水戸市末広町 3 丁目 7 - 1 5

■4,500 円 (+2,000 円で南米ミニ・コース)

■予約・問合せ ☎029-303-6058